

幅1250mmのコイルを無人化で穴開け 国内最大のシェアを誇る パンチングメタルのトップメーカー



しょう よう 松陽産業株式会社

一般用途から0・15mmの極薄材までパンチング曲げや溶接等、二次加工を加え成形品として仕上げる

金属板に穴開け加工を行うパンチングメタルで、国内最大40%のシェアを持つ松陽産業。その強みは、設備と価格にある。幅1250mmのコイルを無人化でパンチングする日本最大級のパンチング加工ラインをはじめ、0・15mmの極薄素材のパンチングやφ20mm〜φ120mmまでのパンチングパイプ加工、さらにアセンブリーや成形までやつてのける設備群は、他社の追随を許さない。曲げや溶接までできるのは同社だけで、自動車のマフラー部品に強く、同社の生産の47%を占める。それ以外にも、マンションのベランダ等の建材、高速道路の防音壁、空港のパーテーション、産業機械、農機具等幅広い分野に製品を送り出し、大手家電メーカーの部品として精密パンチングも扱っている。

「大量生産に対応しているのは、当社だけです。工場では機械に人がつかない無人化を実施しています。その分、低価格が実現しました。しかも、無人でも品質を確保しながらスムーズに稼働できるように、工程が標準化されているのが特徴です」と語る竹内和彦社長。「品質と価格はどこにも負けない」と言い切る。その背景には、生産の4要素「人（Man）、機械（Machine）、

材料（Material）、方法（Method）」に基づく4Mの品質管理が徹底されていた。以前の職人の勘に頼る部分を改良、アバウトな作業から、標準のルール作りを行い、公差のない高い品質を可能にしたのだ。

工程の見直しで不良品撲滅 社内の改革意識を高め、 いい製品を提供

同社の営業出身の竹内社長は、営業時代から不良品が多いことに疑問を感じていたという。平成19年10月の社長就任と同時に、社内の工程を見直した。「ただ、『不良品をなくしましょう』という掛け声だけでなく、具体的に不良項目を減らす取り組みをしました。工程ごとに見直しをしていくと、改善箇所が見つかったのです」と言う。その結果が「標準化」だ。受け取らず、造らず、流さずの3Z活動を徹底した。標準に合致しないものは、材料であっても仕掛かり品であっても受け取らず、自工程で加工をしない。それによって、以前は完成した時点で不良が発覚していたのを、各工程で見えるようになった。

「不良品は機械が作るのではなく、人間の手でできるといことがわかったのです。製造の各チームが改善活動に取り組み、その成果を金額で出すようにしました。社員の意識が高まり、今まで以上に高い品質の製品を提供できるようになりました」その成果は生産効率の向上にもつながったという。さらに、顧客を同社

の工場に招いて打ち合わせ、要求品質を、営業と製造担当者が共有することで、顧客満足度がアップした。今までの取引先は3500社にのぼり、年間でも1200社に納品するという同社だが、顧客の使いやすいものを提供する姿勢に妥協は許さない。結果、新規顧客は前年比280社増。「1枚のパンチングを即日配送」というスピード対応と、高品質・低価格が受け、リピート率も高い。今後は、新しいパンチングの用途提案をしていきたい、と夢は大きく膨らむ。

主な事業内容

金属パンチングメタル製造、アートパンチング設計製作、ラスメタル製造、各種金網取扱、プレス・溶接加工、四輪・二輪・農機具等排気マフラー組立等



竹内和彦さん
代表取締役社長

松陽産業株式会社

Company Profile

住所 / 〒550-0015
大阪府大阪市西区南堀江3-6-1
設立 / 昭和42年11月
資本金 / 4,500万円
従業員 / 175名（平成21年1月現在）
TEL / 06-6543-2666
FAX / 06-6543-2665

ISO 9001
ISO 14001

<http://www.shoyo-sangyo.co.jp/>